

「令和6年度 第3回 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会」議事録

○日 時 令和6年11月20日（水）午後1時から

○場 所 豊橋市役所 講堂

○出席者 別紙「出席者名簿」参照

○傍聴人 2名

○事務局 7名

〔会議資料〕

◆次第

◆出席者名簿

◆豊橋市地域公共交通活性化推進協議会規約

- 【資料1】 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）等について
- 【資料2】 東部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 【資料3】 北部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 【資料4】 南部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 【資料5】 前芝地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 【資料6】 川北地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 【資料2-1】 東山バス運営協議会の取組について
- 【資料3-1】 石巻・下条地域交通推進委員会の取組について
- 【資料4-1】 表浜地域公共交通推進委員会の取組について
- 【資料5-1】 しおかぜバス運営協議会の取組について
- 【資料6-1】 かわきたバス運営委員会の取組について
- 【資料7】 「夏休み小学生50円バス」の実施結果について
- 【資料8】 利用促進事業の実施状況について（中間報告）
- 【資料9】 企業シャトル BaaS（バース）実証実験の実施状況について（中間報告）

議事

1. 開会

- ・本日の議事録署名者として委員2名が議長より指名された。
- ・今回の議事の内容あるいは進行の過程の中で、非公開事項に関するところがあるかどうかの確認がなされた。（非公開事項に関する事項はなし）

2. 議題

○協議案第1号 令和6年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）等について

- ・事務局より、令和6年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価について【資料1】に

基づき説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- 資料の補足になるが、資料 1 は、国の補助金を受けて実施した事業内容について自己評価を報告したもの、資料 1-1 は、各市の都市交通計画に沿って実施した事業について自己評価を行い、次期計画策定につなげることが目的となっているため、今回の自己評価を令和 8 年度策定の計画に反映していただきたい。

(議長)

- 「子育て応援ステッカー」など新規事業は他自治体の参考になると思うので、大きくアピールしていただければ良いと思う。

(委員)

- 交通事故件数がかなり改善されているが、何か理由はあるか。

(事務局)

- 自転車の通行空間の整備やまちなか歩行空間の整備のほか、車の安全機能が備わってきているなどの背景があると考えている。

(委員)

- 数としては減っているが、警察としてはこれでも多いと感じている。減少の要因は様々考えられるが、行政・警察・道路管理者・道路通行者の意識が醸成されてきたことが大きいと感じている。ただ、この数字で目標達成として良いのかと感ずるところではある。

(議長)

- 指標は目標達成となるが、警察の意見としてはまだ多いとのことであり、そのような視点はとても大事である。

(委員)

- 新型コロナによる利用者減少と新たな利用者の創出について課題として挙げているが、新型コロナの行動変容によって減少した利用を戻すことが狙いなのか、新型コロナ関係なく新規利用者を増やす狙いなのか、考え方を教えてほしい。

(事務局)

- 交通事業者とも情報共有しているが、定期外利用者が戻っていない課題があり、その対応は当然やっていくが、その他、子育て世帯や高齢者など、新型コロナ以前から利用が少ない層や、今後利用の増加が見込まれる層に向けた利用促進も両輪でやっていく必要があると思っている。

(議長)

- 新型コロナでの行動変容によって減少した利用はある程度戻ってきていると思うので、そ

の他、高齢者の健康意識向上のための公共交通利用や、子育て世帯に向けたやさしい公共交通の環境づくりにも取り組んでいくといった視点で問題ないと思う。

- ・議長から協議案第1号について諮ったところ、全会一致で承認された。

- 協議案第2号 東部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 協議案第3号 北部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 協議案第4号 南部地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 協議案第5号 前芝地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について
- 協議案第6号 川北地区「地域生活」バス・タクシーの本格運行の継続について

- ・事務局より、【資料2】、【資料3】、【資料4】、【資料5】、【資料6】について、一括して説明が行われた。

- ・続いて、オブザーバーの東山バス運営協議会会長より、東山バス運営協議会の取組について【資料2-1】、石巻・下条地域交通推進委員会会長より、石巻・下条地域交通推進委員会の取組について【資料3-1】、表浜地域公共交通推進委員会会長より、表浜地域公共交通推進委員会の取組について【資料4-1】、しおかぜバス運営協議会会長より、しおかぜバス運営協議会の取組について【資料5-1】、かわきたバス運営委員会会長より、かわきたバス運営委員会の取組について【資料6-1】それぞれ説明が行われた。

(質疑等)

(委員)

- ・賀茂町で通学・通勤利用される方について、バスが多く通る賀茂西バス停まで歩いてコミバスで豊川駅に行くよりも、直接豊川駅に車で行くほうが早いため、可能であれば、賀茂しょうぶ園のバス停に停まってもらえると便利という意見を聞いた。
- ・また、運転士の休憩場所についても、安心して休憩できる場所ではないという話も聞いている。現場の声も聞いて改善していただきたい。

(石巻・下条地域交通推進委員会 会長)

- ・変更後すぐではあるが、そのような地元の意見をもとに、市と地元でルート・ダイヤの再見直しについて話し合いを進めている。
- ・休憩場所についても、周りの環境だけでなく、トイレは近くの公民館を使用しているが、24時間開いていないため、使用できないこともあるなど、改善すべきだと考えている。

(議長)

- ・利用者の意見は運転士が直接聞くことが多いため、交通事業者でそのような意見を集約することは可能か。

(委員)

- ・可能である。利用者の意見については、市と地元とに共有し、今後の検討につなげていく。

(委員)

- ・以前利用した際に、柿の里バスが7分遅れて着いたが、最後のバス停ではダイヤ通りの時間に着いたことがあった。運行ダイヤがタイトとなっており、実際に運転する運転士の

負担を考えると見直しが必要ではないかと感じている。

(委員)

- 道路状況は毎日変動するため、いつどこで渋滞が起きるのか正確に把握できないため、ダイヤに遅れが出てしまう点については、ご理解いただきたい。

(議長)

- 北部地区のルート変更後、運行経費の増大によって収支率が悪化していると思うが、8月～9月の結果を見て、今後さらに悪化することが予想されるが、何か対応は考えているか。

(事務局)

- 新ルートになり、利用者増加の反面、運行経費の増大によって収支率が回復していない課題については常に視野に入れている。今後の改善策としては、運行コストの削減や新たな収入源の獲得について、同時並行で検討を進めている。

(議長)

- 収支率を達成することのみが目的ではないので、現在、順調に利用者を伸ばしており、今後さらなる利用者増加を見込んで、未達成ではあるが、来年度も運行継続するという認識で良いと思う。

(委員)

- 運行経費について補足だが、人件費や燃料費の高騰による運行経費の増大は続いていく可能性が高く、今後、ルートの再変更について検討する際は、運行経費がさらに増えることが前提となると思う。そのような状況があることを皆様にはご理解いただきたい。

(議長)

- 収支率が悪化している＝運行の仕方の問題があるということではなく、人件費や燃料費の高騰など世の中の動きも考慮して継続判断していく必要がある。

- 議長から協議案第2～6号について諮ったところ、全会一致で承認された。

3. 報告

○報告第1号 「夏休み小学生50円バス」の実施結果について

- 事務局より、「夏休み小学生50円バス」の実施結果について【資料7】に基づき説明が行われた。

(質疑)

(議長)

- 昨年からの利用者減少について、8月の天候の影響が大きな要因となるのか。

(事務局)

- ・8月は天候の影響が大きいですが、その他、東三河8市町村のコミバスで減少している部分については、各市の利用促進施策の量や質にもばらつきがあると思うので、今後、東三河での連携をより強化していきたいと考えている。

(委員)

- ・今年は8月の天候の影響で、50円バスだけでなく、通常利用も減少した。令和4年度から令和5年度は増加しており、効果は得られていると感じているため、今後も継続して実施していきたいと考えている。

○報告第2号 利用促進事業の実施状況について（中間報告）

- ・事務局より、利用促進事業の実施状況について（中間報告）【資料8】に基づき説明が行われた。

(質疑)

(議長)

- ・豊橋市の利用促進施策は、他市と比較して、特徴的かつ温かみのある取組みが多いと感じる。11月17日に実施した「公共交通 RUN とよはしロゲイニング」について、参加状況はどうだったか。

(事務局)

- ・ファミリー部門と一般部門あわせて約60名に参加いただいたが、ファミリー層の参加が多かった。ロゲイニングは全国的にも珍しいイベントで、地元だけでなく、市外からの参加もあった。

(議長)

- ・ファミリー層の参加が多かったとのことだが、中高生を対象にしても楽しんで参加してもらえるのではないかと思う。今後また実施する際は、SNSを活用するなど周知を工夫していただければと思う。

(事務局)

- ・今回も広報とよはしやSNSを活用して発信したが、さらに効果的な方法を検討できればと思う。

○報告第3号 企業シャトル BaaS（バース）実証実験の実施状況について（中間報告）

- ・事務局より、企業シャトル BaaS（バース）実証実験の実施状況について（中間報告）【資料9】に基づき説明が行われた。

(質疑)

(議長)

- ・乗車体験企画について、豊橋市が主催か、湖西市と共催か。

(事務局)

- ・豊橋市と湖西市の共催で企画・実施する。

4. 意見交換

(事務局)

- ・本日报道発表した「自動運転バスの実験車両の走行」について、12月に予定している市街地で行う自動運転バスの実験走行に向けて、11月28日から準備走行を行う。

(議長)

- ・まずはまちなかを走行することだが、最終的な自動運転バスの位置づけについて、どのように考えているか。

(事務局)

- ・最終的な目標は郊外での運行だが、まずは市民の目に留まるようにまちなかで実験走行を行う。費用面での負担が大きいため、市としては慎重に検討していきたいと考えている。

5. 閉会

事務局の都市交通課課長から閉会の挨拶があり、会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員 (印)

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会委員 (印)